

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 24 年 1 月 5 日  
理事長 松山 良一

## 日本の国際会議開催件数、世界第 2 位(アジア首位)を記録 ～2010 年の世界の国際会議開催件数 (UIA 統計暫定値)～

UIA (国際団体連合: Union of International Associations 注1) は、2010 年に世界で開催された国際会議の件数 (暫定値) を算出しました。

これによると、日本は 741 件で、世界の中で第 2 位を記録しました。日本のこれまでの過去最高記録は、2008 年の 575 件 (世界第 4 位) でしたが、2010 年にはこれを大幅に上回りました。世界全体の順位は、1 位アメリカ (936 件)、2 位日本 (741 件)、3 位シンガポール (725 件)、4 位フランス (686 件)、5 位ベルギー (597 件) となりました。また、アジア諸国の順位は、1 位日本 (741 件、世界第 2 位)、2 位シンガポール (725 件、同 3 位)、3 位韓国 (464 件、同 8 位)、4 位中国 (236 件、同 15 位) 注2、5 位インド (164 件、同 19 位) となりました。[→資料 1、2 参照]

日本の国際会議開催件数が飛躍した主な要因は、①アジアの学会が成長し、それに伴い、アジア地域の会議需要も増加したこと、②2010 年には APEC、COP10 の関連会議 (関連会議 34 件) 開催という特殊需要が発生したこと、③2010 年を「JAPAN MICE YEAR」と位置付け、各種の誘致活動を実施した結果、国内会議の外国人参加者数が増加したことなどが挙げられます。

なお、2006 年に観光庁が策定した観光立国推進基本計画で、日本の国際会議開催件数を、UIA (国際会議選定の旧基準) に基づいて、2005 年の 168 件 (旧基準) から 2011 年には 252 件 (旧基準) にすることが掲げられました。但し、UIA は 2007 年に、国際会議選定基準を変えたため、2010 年の日本の国際会議開催件数を旧基準に当てはめて再集計した結果、2010 年の日本の国際会議開催件数 (旧基準) は、2011 年の目標値を上回る 309 件となり、目標が 1 年前倒しで達成されました。[→資料 3、4 参照]

**注 1** UIA は 1907 年に設立され、6 万を超える国際機関、国際団体等に関する情報の調査・統計の編集などを行っている非営利・非政府の団体で、ブリュッセルに本部を置いています。

**注 2** 香港、マカオ、台湾は含まれていません。

**注 3** 日本政府観光局 (JNTO) は昨年 11 月 8 日に、「JNTO の国際会議選定基準」に基づいた「2010 年の日本の国際会議開催件数、経済波及効果額」を発表しました。この数値と本報道資料の数値は異なった基準に基づいて集計されているため、一致していません。

なお、昨年 11 月 8 日に発表した日本の国際会議開催件数は、本日 (本年 1 月 5 日) までの間で会議開催の開催状況に変更点が把握されたため、これに則して本日付で当該内容を変更しました。詳細は次のウェブページをご覧ください。 ([http://www.jnto.go.jp/jpn/press\\_releases/111108\\_mice\\_economic\\_effect\\_2010a11.html](http://www.jnto.go.jp/jpn/press_releases/111108_mice_economic_effect_2010a11.html))

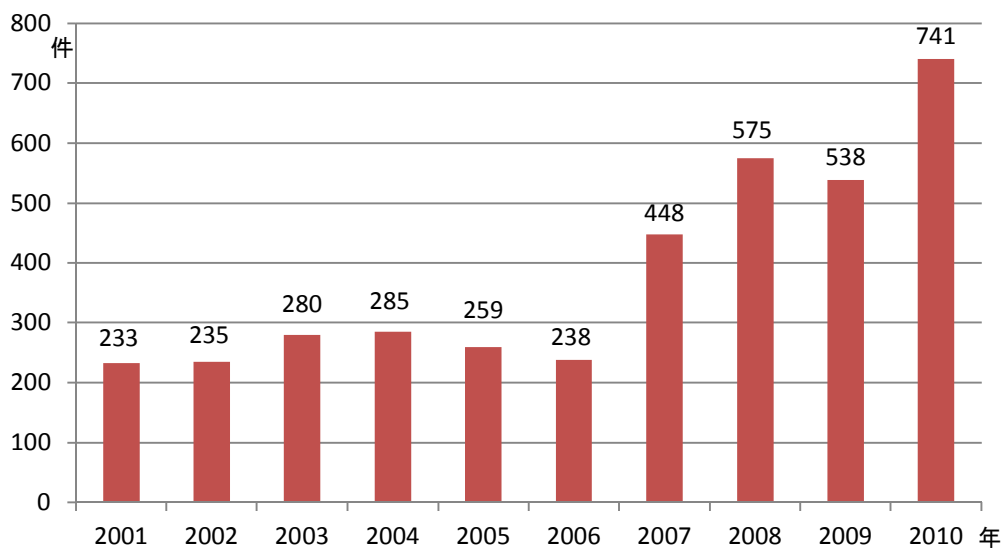


資料1 国別 国際会議開催件数 (UIA 統計: 2009年~2010年新基準・暫定値)

順位	2010年		2009年	
	国名	件数(件)	国名	件数(件)
1	アメリカ	936	アメリカ	1,085
2	日本	741	シンガポール	689
3	シンガポール	725	フランス	632
4	フランス	686	ドイツ	555
5	ベルギー	597	日本	538
6	スペイン	572	ベルギー	470
7	ドイツ	499	オランダ	458
8	韓国	464	オーストリア	421
9	イギリス	375	イタリア	391
10	オーストリア	362	スペイン	365
	世界全体	11,519	世界全体	11,503

資料2 日本の国際会議開催件数

(UIA 統計: 2001年~2006年 旧基準・確定値、2007年~2010年 新基準・暫定値)



資料3 UIA 統計の国際会議選定基準

主催者	2006年統計までの旧基準	2007年統計からの新基準
国際機関・団体	①参加者数: 50人以上 ②参加国数: 3か国以上 ③開催期間: 1日以上	①参加者数は50人以上が原則であるが、参加者数が不明の場合も含める。 ②参加国数: 3か国以上 ③開催期間: 1日以上
国内機関・団体	①参加者数: 300人以上で、このうち40%以上が主催国以外の参加者(但し、併催展示会については注意書きなし) ②参加国数: 5か国以上 ③開催期間: 3日以上 ④「ministerial」、「summit」の名称が付く国際会議を必ずしも含めていなかった。	①参加者数: 300人以上(参加者は40%以上が主催国以外であること)、もしくは参加者数は不明でも、併催展示会があれば、参加者数の要件を満たすものとする。 ②参加国数: 5か国以上 ③開催期間: 3日以上が原則であるが、開催期間が不明の場合も含める。 ④「ministerial」、「summit」の名称が付く国際会議も基準を満たせば含める。

資料4 日本の国際会議開催件数の目標値と実績 (UIA 統計の旧基準に基づき JNTO で再集計)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
目標数(旧基準)	168件						252件
開催数(旧基準)		166件	216件	241件	246件	309件	

注) 観光庁は2006年に、UIA 統計(2005年の168件=UIAの旧基準の数値)を基礎にして、2007年から2011年までの5年間で、日本の国際会議開催件数を1.5倍に増加する目標を策定した。2010年の309件は、上記①の741件(新基準)を旧基準に置き換えた数値。

参考1 世界都市別 国際会議開催件数 (UIA 統計: 2009年~2010年 新基準・暫定値)

順位	2010年		2009年	
	都市名	件数(件)	都市名	件数(件)
1	シンガポール	725	シンガポール	689
2	ブリュッセル	486	ブリュッセル	395
3	パリ	394	パリ	316
4	ウィーン	257	ウィーン	311
5	ソウル	201	ジュネーブ	183
6	バルセロナ	193	ベルリン	171
7	東京	190	プラハ	170
8	ジュネーブ	189	ストックホルム	159
9	マドリード	175	ソウル	151
10	ベルリン	165	バルセロナ	148

注) 2009年に、東京の順位は11位、件数は134件であった。

参考2 国内都市別 国際会議の開催件数 (UIA 統計: 2009年~2010年 新基準・暫定値)

順位	2010年			2009年		
	都市名	件数(件)	世界の順位	都市名	件数(件)	世界の順位
1	東京	190	7	東京	134	11
2	横浜	82	24	横浜	54	34
3	京都	61	38	神戸	40	47
4	神戸	45	47	京都	39	50
5	大阪	32		つくば	31	
6	札幌	31		福岡	30	
7	名古屋	29		札幌	28	
8	仙台	28		仙台	23	
9	つくば	24		大阪	20	
10	千葉	22		名古屋	18	